

科 目 名

医薬倫理学 Healthcare Ethics

4年 前期 1単位 必修

松倉 誠・瀬尾 量

概要・目標

【松倉】

医療は日進月歩の技術や治療を遂げる側面を常に持っている。その事は即ち、昨年の不可能が今年には可能になっている事もある。医療倫理が10年前のものが通用しなくなる事も実際にある。医療倫理の底流に流れる思想や、考える目途を理解し、変化目まぐるしい医療に適した倫理観を持てるようにしたい。

【瀬尾】

医薬分業にとまない薬剤師を取り巻く環境は倫理面でも厳しくなってきた。他の医療従事者さらには地域社会と薬剤師が関わるためには、病院・診療所、薬局、医薬品関連企業、衛生行政機関、大学などの各職域でどのような倫理観を持つべきかを学ばせる。

一般目標

医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、医師、看護師および地域社会の信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する〈A1(3)〉。

授業計画

【松倉】

医療倫理のこれまでの歴史を振り返り、どのようにして現在の考え方に至ったかを概観する。倫理を考える時に使用される基本的な用語の解説を行う。その後、幾つかのケースに従って、スモールグループディスカッション (SGD) と発表を行う。次回に、各人がレポートを提出する。

・コミュニケーション 〈A1(3)-1-1~3〉

- 1) 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。
- 2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。
- 3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。

・相手への気持ちに配慮する 〈A1(3)-2-1~3〉

- 1) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。
- 2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度)
- 3) 対立意見を尊重し協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)

・患者の気持ちに配慮する 〈A1(3)-3-1~5〉

- 1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。
- 2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)
- 3) 患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)
- 4) 患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。(態度)
- 5) 不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度)

【瀬尾】

薬剤師に必要な各職域での倫理観を概説し、時事倫理事例や主要各国の倫理規定を検討しつつ、幾つかのケースに従って、スモールグループディスカッション (SGD) やロールプレイを取り入れる。毎回、授業の最後に課題を与え、レポート提出を義務づける。

・チームワーク 〈A1(3)-4-1~3〉

- 1) チームワークの重要性を例示して説明できる。
- 2) チームに参加し、強制的態度で役割を果たす。(態度)
- 3) 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)

・相手への気持ちに配慮する 〈A1(3)-5-1~2〉

- 1) 薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。
- 2) 薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)

授業方法

【松倉】 視聴覚機材を用いた講義を行なう。SGD を適宜行い、全体発表をする。必要に応じて資料を配布する。

【瀬尾】 視聴覚機材および配布資料を用いた講義を行なう。必要に応じてロールプレイを実施する。

評価方法

【松倉】・【瀬尾】 定期試験、レポート、授業への参加態度を総合して評価する。

教 材

【松倉】 教科書：なし

参考書：「ケースブック医療倫理」(医学書院) ISBN4-260-33250-3 C3047

【瀬尾】 教科書：なし

参考書：「ケースブック医療倫理」(医学書院) ISBN4-260-33250-3 C3047
「薬剤師のための倫理」(南山堂) ISBN:4-525-70101-7

履修上の注意

倫理学は決して固定されたものではなく、特に医療倫理は長い職業キャリアでは大きく変わる事も考えられる。